

札幌市立真駒内中学校 学校だより



けやき

令和4年(2022年)度第1号

発行日: 令和4年(2022年)4月8日(金)

編集発行: 札幌市立真駒内中学校

所在地: 札幌市南区真駒内幸町3丁目1-1

第55回 入学式より 「式辞」 校長 山根 衛二

今日の佳き日、123名の新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。

皆さんは、本校の入学に当たり、期待と希望を胸にいだいて、この入学式に臨んでいることと思います。真駒内中学校の教職員、テレビの画面を通し、この会場を見守っている2年生、3年生の先輩たちと共に、皆さんの御入学を心から歓迎し、お祝いを申し上げます。

今年の入学式におきましても、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、このような形となりましたこと、残念に思います。しかし、会場にPTA会長をはじめ、保護者の皆様に参列していただき、新入生の晴れの姿を一緒に見守ることができましたことは、本当に嬉しいことです。保護者の皆様、お子様の御入学おめでとうございます。

本校の学校教育目標は「未来に生きる、たくましく心豊かな生徒を育てる学校」です。知・徳・体のバランスの取れた生徒の育成を目指し、自分の未来に対し、夢を抱き前進し続ける生徒を育てることを目標としております。また、本校の教育スローガンを「人として胸をはって生きる自分」として、生徒の15歳の姿を校区の小学校とも共有し、目指す生徒像・未来予想図として設定しております。一人一人の生徒たちが、将来に渡り自分らしく生き、未来の自分の姿をイメージしながら成長し続けることを、教職員が一丸となって全力でサポートいたします。また、その過程では、保護者の皆様や地域の方々のお力もお借りし、協働しながら生徒たちの成長を共に見守り、一緒に関わっていくことをお願いいたします。

さて、生徒の皆さん。皆さんが「胸を張って生きる自分」となるためには、自分の未来を自分自身で拓いていく必要があります。そのような力をどのように身につけていくのか、さらに、そのような人間性の豊かさをどうやって磨いていくのか…。皆さんには中学校生活において、まずは、次の2つの「つながり」を意識し、取り組むことをお願いします。

一つ目のつながりは「仲間とのつながり」をもつことです。日々の学級や学年での生活や活動を通して、お互いの考えを理解し、努力を認め合う「心のつながり」です。更に、もう一つのつながりは、支え合う「行動のつながり」を創ることです。本校では、たくさんの行事があります。中学校では、生徒たちが自分たちの手で行事を創り上げることを大切にしています。全校が一つとなって取り組む陸上競技大会や学校祭、合唱コンクール、学年で取り組む旅行的行事などです。皆で話し合い企画し、表現したり、アイデアを出し合って発信したりする中で、生徒と生徒の「仲間のつながり」や「行動のつながり」が築かれることとなります。この「つながり」づくりは、「自分が周りの仲間たちから認められている」という、お互いの安心感と自信につながり、その自信が人間性の豊かさへと発展することとなります。

もう一つの願いは、「粘り強く学ぶ」ことです。学習は小学校より確実に難しくなります。中学校では、学ぶ場面がたくさんあります。始めてで、分からないことも当然あります。始めてなのだから当たり前なのです。先生方は丁寧にに関わり、一緒に考えますが、そんなとき皆さんには、少なからずの努力が必要となります。焦ることなく、一つ一つ積み重ね、そして粘り強く学びましょう。知識を備え、考え判断する力は、人間性を磨く大切な力となります。この時、学びの支えとなるのは、一つ目の「つながり」です。学びは、自分一人のものではなく、協働し、対話しながら学ぶことが大切です。そのような学び、学び方が最も重要なのです。そのような学びは、楽しい学びであり、豊かな学びとなるはずです。そして、次の学びにつながる意欲となります。皆さんの学びは、学習に限ったことではありません。中学校生活において、行事や部活動、ちょっとした時間での些細なことや友達との会話、これら全てが学びなのです。

私の二つの願いのイメージは伝わったでしょうか。

「心と行動のつながり」、「粘り強い学び」、この二つを皆さんの中学校生活の柱として、心に刻み、自分らしく歩み、真駒内中学校の新たな歴史づくりに、参加してほしいと思います。

皆さんを優しく見守り、力強く導いてくれる、頼もしい2、3年生の先輩たちがいます。地域や保護者の皆様、教職員も一緒になり、真駒内中学校の55年目の新たな歴史が始まります。共に創り、発展させましょう。

最後となりますが、新入生の皆さんの中学校生活が希望に満ち溢れたものとなり、未来にわたる人間性の基盤や土台がつくられることを願い、式辞といたします。

ようこそ 真駒内中学校へ



今年度、着任した教職員より一言

ながお みほこ
長尾 美保子 教頭（向陵中学校より）

中央区の向陵中学校より着任いたしました。コロナ禍ではありますが、どの生徒にとっても心豊かに、自らの力を生かし、安心して暮らせる「いい居場所」づくりのために、行動していきたいと思います。保護者の皆様には、御理解と御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

うしだ つねお
牛田 恒夫 主幹教諭（宮の森中学校から）

中央区の宮の森中学校より参りました。全学年の音楽の授業を担当させていただきます。感染症対策で歌唱や器楽などの活動には制限がありますが、工夫しながら進めて参りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

ふるさと ななみ
古里 七海 教諭（新採用）

教職1年目で慣れないことばかりですが、皆さんの国語科での学びや学校生活が楽しいものとなるよう、努めてまいります。皆さんとお話できるのを楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

きくち けんたろう
菊地 憲太朗 教諭（澄川西小学校から）

同じ南区にあります澄川西小学校から参りました、菊地憲太朗と申します。お子様の充実した学校生活やご成長の一助となるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

こむら じゅん
小村 淳 教諭（簾舞中学校から）

簾舞中学校から参りました小村 淳といいます。1年生の数学を担当します。2・3年生とは異なり、最初のうちは「算数」と言ってしまうことが多い1年生と「数学」に取り組めることが、楽しみでなりません。よろしくお願いいたします。

さいとう けんすけ
齊藤 研介 教諭（西野中学校から）

西区の西野中学校から参りました、齊藤研介（さいとうけんすけ）といいます。この出逢いを大切に、ステキな時間を過ごしたいと思います。お子様のために一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

おおやま あやか
大山 綾花 教諭（新採用）

はじめまして。真駒内中学校の皆さんと出会えたことを嬉しく思っています。教科は保健体育を担当します。生徒に寄り添い、共に成長していきたいと思っています。これからよろしくお願いします。

ふじた たいき
藤田 泰生 教諭（新採用）

北海道教育大学札幌校から参りました。藤田泰生と申します。技術・家庭科を担当します。真駒内中学校でものづくりの楽しさを伝えられることを楽しみにしています。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

ふとの たかや
太布 貴也 教諭（平岸中学校から）

平岸中学校から参りました。太布（ふとの）と申します。南区の学校で勤務するのは初めてなので、今から皆さんと活動することがとても楽しみです。よろしくお願いいたします。

さとう こうへい
佐藤 康平 教諭（篠路西中学校から）

篠路西中学校から参りました。生徒一人一人が学校生活を穏やかに過ごせるように、尽力していきたいと考えています。

精一杯頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

くつな ゆか
久津那 由香 事務職員（真駒内桜山小学校から）

お隣の真駒内桜山小学校から参りました。生徒の皆さんが学校で楽しく過ごせるよう安全・安心な教育環境づくりを目指して頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



〈令和4年(2022年)度 教職員一覧〉 校長 山根 衛二 教頭 長尾 美保子 主幹教諭 牛田 恒夫

学級	第1学年		第2学年		第3学年	
	氏名	教科	氏名	教科	氏名	教科
1	齊藤 研介	保健体育	青山 豊	英語	石岡 達朗	英語
2	杉本 愛佳	国語	大山 綾花	保健体育	遠山 智紀	数学
3	宿野部 綾野	英語	高橋 悠輔	数学	曾我 麻友美	国語
4	藤田 京佑	理科	伊藤 彩乃	美術		
5	村井 麻美	特別支援	亀谷 明日菜 太布 貴也	特別支援	根本 智文	特別支援
所属	1組副担 藤田 泰生	技術・家庭	1組副担 古里 七海	国語	1組副担 藤田 ゆきえ	保健体育
	2組副担 小村 淳	数学	2組副担 長岡 秀政	理科	2組副担 大谷 雅之	理科
	3組副担 林 功	保健体育	3組副担 菊地 憲太朗	社会	3組副担 岩崎 達也	社会
	4組副担 牛田 恒夫	音楽	4組副担 佐藤 康平	社会		
			4組副担 西村 聡	理科	北川 夏希	養護教諭
事務職員	久津那 由香		校務助手	福本 景子	福祉補助員	手間本 達也
用務員	加藤 博幸 山崎 公輝		スクール カウンセラ ー	前野 雄介	学校司書	小島 博子
学びのサポーター・相談支援パートナー			堀田 恵美子 藤原 円果		部活動指導員	檜崎 学